



# 2024年度（2025年3月）グローバル教養型 タイ王国：グローバル産業人材育成プログラム -国立タマサート大学短期留学-

◆参加募集説明会◆  
11月26日（火）12:05-12:45  
学生交流センター1F  
プロジェクトラーニングスペース

タイ王国の文化や社会背景を、タイでトップレベルの名門、国立タマサート大学にて学びます。同大学の学生とともに、フィールドワークや交流も行います。英語に自信がなくても大丈夫！

- 対象学部・研究科：全ての学部・研究科を対象
- 実施期間：2025年3月5日（水）～3月19日（水）（航空券日程から1～2日程度の変更あり）
- 活動場所：王都バンコク、および隣県チョンブリー県（ランシット・キャンパス）等
- 活動内容：文化交流・産業調査活動が中心、大学指定のグループで活動場所を決定
- 募集人数：15～25名（予定） ※ 本学教員が現地にて引率
- 宿泊：タマサート大学ランシットキャンパス内（大学内ホテル）
- 参加費：10万円程度・・・航空券別途、奨学金（条件有）：JASSO 7万円 又は 福大支援金 6万円
- 申込受付期間：2024年11月26日（火）13時～2024年12月20日（金）17時厳守
- 問合せ先：国際課 0776-27-8404/ studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp

これまでの実施の様子（過去9回計190名が参加！）



## これまで参加した学生の声（気づき）の抜粋

### 1. 産業対応力

「タイの中に日本の商品や文化が根付いていることに驚いた。」

「街中には日本の車がたくさん走っていて、日本企業の広告がありふれていた。タイの経済は日本と深く関わっていると思った」

「日本人としての知識不足や、自国を愛することが足りていないと実感したし、ジェンダーについての考え方も変わった。いかに自分の考え方が狭いのかを痛感したが、このプログラムをきっかけに、私の中でたくさんの変化が生まれた良い機会であった。」

「予定を立てて行動することとその難易度に対する時間のかけ方がとても勉強になった。」

「今回の留学を通して「文化の違い」、「食の違い」、「インフラの違い」といったようなタイと日本の様々な違いに触れることができた。」

「この経験を種に社会に貢献していきたいです。」

### 2. グローバル対応力

「思っていたよりもずっと楽しくてタイ人の子と離れるのがとても寂しく感じます。」

「普段生活しているだけでは絶対に出会わないような、仲間ができたのが嬉しかった。」

「街を歩いているだけでもパティが様々なことを教えてくれるので、私からも質問がしやすく一緒にいる時はずっとおしゃべりすることが出来た。その分お別れの時はとても寂しかったけど今後この関係を大事にしたいと考えている。」

「自分でも驚くべきことに、2週間のプログラム中1度も帰りたいと思わなかった。一日一日が充実していて、自分の英語力やコミュニケーション力が試されていると思いながら自分のベストを尽くすことができ、自信にも繋がった。本当に貴重でこれからは忘れられない素晴らしい期間でした。」

「自分はインドア的で、あまり外で活動をしてきて、これまでの自分ではしないようなタイの留学をしてみて、とても楽しかったです。自分の中にある、自分の固定観念とは違うことをするのはいいことだと思いました。」

「タイの一面を実感するのにこのプログラムはうってつけだったと思う。」

「英語で意思疎通ができたことに感動した。これまで生きてきて初めて英語の大切さと便利さを感じた。自分にとってはすごく大きいことだった。」

「日本では考えられないような光景が目の前に広がっていました。そんな中で過ごした2週間は人間として成長できた。」

「タイ人とこんなに友情を深められたこと、タイの生活にはこんなにも深いことがあることに気づいて日本の良さ、タイの良さにも気づくことが出来た。」

「新しいことを知りたいという好奇心は幼稚園の頃から忘れていた。あの頃の楽しさにもう一度触れることができた。この体験は私の人生に必要であった。」

「タイでの出来事全てが勉強になりました。タイ人の考え方は竹本教授のおっしゃられた通り日本人のそれとはかなり違って得られたことが多かった。物事に対する考え方が根本的に変わりました。」

「今まで普通に生活していたら気づかなかった多くの新しいことを発見でき、自分の殻を破ることができた。」

「同じプログラムに参加した他学年、他学部の福井大学生とも仲良くなったことがほんとうに良かった。」

「またタイに行きタイ！」（毎年多数）